

平成 15 年度政府予算案に対する会頭コメント
(2002 年 12 月 20 日)

今回の予算案は、国債発行が戦後最高の 3 6 兆円、国際依存度も戦後最高の 4 4 . 5 % という結果になったが、これは税収が減少しているなかで、不況対策も行なわなくてはならない、綱渡りのような、ぎりぎりの選択だった。

日本経済の再生のためには、産業再生機構の創設とか、中小企業に対するセーフティネットの強化も不可欠だが、新しい産業の振興や、将来に向けての技術研究の促進といった、前向きな施策にさらに重点をシフトして、日本が競争力を回復していくことで、経済が拡大して、財政が潤うような方向に進むことを、さらに期待したい。

京都商工会議所
会頭 村田純一